

世界初の気付きディレクター「きづくネットワーク」

この度ロゴマークをデザインさせて頂いた「株式会社 きづくネットワーク」さん。代表の武田さんは、私と同級生の36歳。ノエビアの営業からインテリジェンスにてキャリア相談を12年も経験してきている。自らの著書「ころばぬ先の杖」では、28歳の男性サラリーマンを対象に、この時期につまづきやすい要因を様々な実体験をもとに詳しく教えるを説いてある。そんなノウハウをいかし来年の1月1日からついに独立開業。武田さんの経験上成長していくためには、人から教わるのではなく自らが気付く事が最も重要。では、自らが気付くには、どうすれば良いのか?その答えはこのロゴマークにも表しているように、常に「人の逆の立場に立つ事」が重要だそうです。上司の立場や、お客様の立場と、常に「逆の立場に立つ」ことで自らが気付き成長していくそうです。実は、私も武田さんから面接の指導を受けましたが、自分では絶対に気付かない視点にたくさん気付かせて頂きました。今就職難で困っている学生など、武田さんのノウハウが必ず役立つと思っております。サラリーマン経験の少ない私にとっては、武田さんのお話がとても興味深い内容で勉強になりました。自身の力に気付きたい方は是非こちらへ!!

株式会社 きづくネットワーク 気付きディレクター 武田義昭

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-6-12 オオキ博多駅前ビル6F

TEL: 092-481-6636 FAX: 092-483-5727

http://ameblo.jp/kiduku-network/

e-mail: takeda@kiduku-network.com



儲かる会社はロゴが違う (その由来とデザインの意味は...)

Vol.41

ZAPPOS (ザッポス) とはスペイン語の靴を意味する「ザパトス」から

「社員・顧客に幸せを届ける」という企業理念で最近話題になっている「ザッポス」。靴を中心としたオンラインショップを運営する全米屈指の企業です。そもそもZAPPOS (ザッポス) とはスペイン語の靴を意味する「ザパトス」から由来されており、ロゴマークにもその特徴が込められております。何とこの会社買った靴の返品が自由に行える。そればかりか買った靴を返品するために電話をかけた少女へ、贈るはずだった母が亡くなったことが返品の理由であることを知ったコールセンターのスタッフが、彼女のもとに花束とメッセージを贈った話など感動を巻き起こす事がとても上手な会社。客の悩みに対して誠実に応える姿勢を取り、具体的な体制を整えてきたからこそ、低迷する市場環境にも左右されず爆発的な成長を遂げている。



編集後記

最近気付きの多い日々を過ごさせて頂いております。それだけ成長しているという事なのか?しかし振り返ってみると今回の気付きは、過去にも同じような事を言われていたような記憶がよみがえる。そしてあの時のあの人の言葉はそういう意味だったのか!と改めてまた気付く。でも大事な事は、本当に自らの体験を通してしか気付かない。知っていても経験がなければ気付かない。大切な事は、いつも目の前を通り過ぎていっている。それに気付くか気付かないかは、その人の経験で全てが決まってくる。子供の頃に歴史を習うのと、今歴史を習うのとでは、おそらく全然違う気付きがあるはずだ。その違いは、その人に経験があるからだ。そんな話昔から誰でも知っているよ!って言われそうだが、改めて自分で気付くという事が重要だ。優秀な親であろうが、先生であろうが、コンサルタントであろうが、答えを教える事は決してしてはいけない。というか本当にその答えが正しいかどうか解らずにいる人が多いので、自分の腹に落ちるまでに時間がかかる。つまり使えない。やはり自分で考え、自分で気付くという経験をさせなければその人は一生気付かない。これからは、教えるのではなく自らが経験をして気付きを得られる事がなにより重要になりそうです。そんな事前にも言ってたじゃん!って言われそうですがこれも気付きなのです。 根本 和幸